

事業名：消防車両整備事業

警防課 主査（装備）

政策	04 安全で快適な都市生活の充実							
施策	07 消防・救急の充実							
基本事業	99 施策の総合推進							
開始年度	—	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金

事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

消防車両
救急車両

手段（事務事業の内容、やり方）

消防自動車等の更新・整備目安に基づき、車両の機能維持及び更新整備を図る。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

各種災害活動に安全かつ迅速に対応できるよう車両の性能を保持して、老朽化による不測の故障を防止し、活動が効率的に行えるようにする。

指標・事業費の推移

区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	消防車両数	台	26	26	26	—
対象指標2	救急車両数	台	4	4	4	—
活動指標1	消防車出動件数	件	784	727	705	—
活動指標2	救急車出動件数	件	3,997	4,136	4,497	—
成果指標1	更新台数	台	1	1	1	—
成果指標2	車両故障件数	件	72	59	51	—
事業費(A)		千円	24,220	3	54,542	61,464
正職員人件費(B)		千円	4,013	4,008	3,907	11,736
総事業費(A+B)		千円	28,233	4,011	58,449	73,200

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	消防車及び救急車の更新整備	消防ポンプ自動車更新整備 26,233千円

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
事業を取り巻く環境変化	
消防業務の市民サービス低下は、市民の生命、身体及び財産に直接影響を及ぼすものであり、迅速、効果的な消防活動を行うためには老朽化した消防車両を計画的に整備する必要がある。	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）

(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠
	消防組織法、消防法及び消防力の整備指針の規定に基づき行っている。
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠
	消防組織法、消防法及び消防力の整備指針の規定に基づき行なっている基礎的事務事業である。
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠
	多様化する災害に伴い、使用している車両の老朽化が著しく、高額な車両を一度に複数台更新することが難しい状況である。
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠
	整備を行うことで老朽化による不測の故障を防止し、災害に迅速かつ安全に使用でき、安全・安心な市民のニーズに効果が図られる。
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する方法はありますか？	
ある なし	理由 根拠
	消防力の整備指針を基本としながら車両の仕様を見直すことで、更新経費の抑制を図る。